

# 産業関係学科

■ 2025～2014年度生

59～66

## 【人材養成目的】

産業関係学科は、雇用と労働に関する実際的问题の分析とその解決方法の探求について、学際的な専任教員体制に基づく、現場に根ざした実証的・実践的な教育・研究を遂行することとおして、「答えがまだ見つかっていない問題」に対処するために課題発見力、読解力、思考力、文書作成力、ヒアリング力、プレゼンテーション力を身に付けて、企業、政府・自治体、学校、労働組合等において活躍する人材を養成することを目的とする。

## 【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

- ・産業社会における雇用と労働に関する課題を、論理的・実証的な学術的知見に基づいて理解できる。（知識・技能）
- ・産業社会における雇用と労働の現状に対して、学術的知見に基づいて未知の課題を探求し、明晰に表現できる。（思考力・判断力・表現力）
- ・多様化する雇用と労働に関する課題について、学術的知見に基づいて公平・公正に問題提起ができる。（主体性・多様性・協働性）

## 【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・運営の方針）】

### カリキュラムの編成・運営方針

- ・産業社会における雇用と労働に関する課題の解決に貢献できる人物を育成するために、必修科目（32単位）及び選択科目Ⅰ～Ⅲ（92単位以上）によって構成されるカリキュラムを設置する。なお、選択科目Ⅰには、学科専門科目群と学部共通科目群を設置する。必修科目および選択科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲはそれぞれ、「学力の三要素／領域」である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を養う「総合群」として設計されており、各科目群の概要は以下のとおりである。

### 必修科目

- ・必修科目は、産業社会における雇用と労働に関する課題を理解するために必要な基礎的知識を習得し、その知識を応用して未知の課題を探求する学問的態度を養い、問題提起の公論を喚起するためのコミュニケーション技能を獲得することを到達目標とし、1年次の「ファーストイヤーセミナー」、2年次の「産業関係文献演習Ⅰ・Ⅱ」、3・4年次の「産業関係学演習Ⅰ～Ⅳ」といった少人数による演習形式の科目及び「基礎経済学（Ⅰ）・（Ⅱ）」などの講義形式の科目28単位ならびに卒業論文4単位を履修する。

### 選択科目Ⅰ

- ・選択科目Ⅰは、産業社会における雇用と労働に関する課題を理解するために必要な高度な専門的知識を習得し、未知の課題を探求するための技能を獲得することを到達目標とし、1年次から4年次にかけて講義と実習を中心とした授業科目38単位以上を選択履修する。
- ・選択科目Ⅰ（学科専門科目群）は、産業社会における雇用と労働に関する高度な専門知識と課題探求のための調査技法やコミュニケーション技能を習得することを到達目標とし、2年次から4年次にかけて講義（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語によって専門書を読む「外国書講読」を含む）と実習を中心とした授業科目34単位以上を履修する。
- ・選択科目Ⅰ（学部共通科目群）は、産業社会における雇用と労働に関する課題を理解するための素養として隣接・関連領域の学術的知見を幅広く習得することを到達目標とし、1年次から4年次にかけて講義を中心とした授業科目4単位以上を履修する。

### 選択科目Ⅱ

- ・選択科目Ⅱは、専門科目（選択科目Ⅰ）の知識と技能を補充するとともに、産業社会における雇用と労働に関する課題を理解するための基礎的教養として、人類の共有財産たる人文・社会・自然科学の研究成果を幅広く受容し、活用する態度を獲得することを到達目標とし、全学共通教養科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目、さらには同志社女子大学や大学コンソーシアム京都との単位互換科目から、1年次から4年次にかけて講義と演習を中心とした授業科目20単位以上を選択履修する。

### 選択科目Ⅲ

- ・選択科目Ⅲは、産業社会における雇用と労働に関する課題を理解し、探求するためのコミュニケーション技能として外国語を習得することを到達目標とし、1年次から2年次にかけて産業関係学科設置科目ならびに全学共通教養教育科目の中の外国語教育科目から、英語を12単位以上、英語以外の外国語8単位以上を履修する。

これらの科目に加え、学生の興味関心に応じて、系統的かつ計画的に産業関係学科以外の科目を履修することを支援する制度として、縦断的副専攻「社会学」「社会福祉学」「メディア学」「教育文化学」、ならびに横断的副専攻「ジェンダー」「社会心理」「国際社会」を設置している。

産業関係

2025～  
2014年度生

## 履修体系

## ○卒業必要単位数

卒業に必要な単位数は124単位です。修得すべき各科目群の単位は下表のとおりとなります。

必修科目	選択科目Ⅰ		選択科目Ⅱ	選択科目Ⅲ		合計
	学科専門科目群	学部共通科目群		英語	英語以外	
32	34以上	4以上	20以上	12以上	8以上	124
	92					

- ①必修科目32単位を履修すること。
- ②選択科目Ⅰの学科専門科目群から34単位以上、学部共通科目群から4単位以上を履修すること。
- ③選択科目Ⅱから20単位以上を履修すること。
- ④選択科目Ⅲから、英語12単位以上、英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ハンガール語、コリア語、外国人留学生のみ日本語）から1言語を選択して8単位以上を履修すること。ただし、英語については全学共通教養教育科目（外国語科目）から8単位以上を履修すること。
- ⑤選択科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから合計92単位以上を履修すること。

## ○登録単位数

1年間に登録できる単位数の上限は、各年次とも48単位です。また、各学期（1 Semester）に最低2単位は登録しなければなりません。必ずこの範囲内で登録してください。

	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
年間最高登録単位数	48	48	48	48
学期最高登録単位数	46	46	46	46
学期最低登録単位数	2	2	2	2

免許・資格に関する科目を年間最高登録単位数とは別枠で登録することができます。5ページを参照してください。

## 設置科目の概要と履修方法

## ○必修科目

必修科目は次のように構成されています。

- ・1年次は「ファーストイヤーセミナー」「産業関係基礎論」「現代社会と労働」「基礎経済学（1）」「基礎経済学（2）」です。「ファーストイヤーセミナー」は大学での勉強のオリエンテーションを少人数クラスで行います。「産業関係基礎論」は産業関係学の勉強方法の習得を目指します。産業関係の基礎には市場経済があります。「基礎経済学（1）」「基礎経済学（2）」では、その仕組みを学びます。
- ・2年次は「産業関係文献演習Ⅰ」「産業関係文献演習Ⅱ」「産業関係学基礎論文」「産業関係論（1）」「産業関係論（2）」です。「産業関係文献演習Ⅰ」と「産業関係文献演習Ⅱ」は同一の担当者のクラスで1年間履修し、その結果を「産業関係学基礎論文」にまとめます。この3科目は1つのセットと考えてください。この1セットの科目で産業関係学の基本的な文献の読み方、考え方が習得され、自分の考えを小さな論文に表現する方法を学びます。「産業関係論（1）」と「産業関係論（2）」は講義科目です。ここで体系的に産業関係学の全体像を学びます。
- ・3年次は「産業関係学演習Ⅰ」「産業関係学演習Ⅱ」です。いわゆるゼミといわれるものです。

- ・4年次は「産業関係学演習Ⅲ」「産業関係学演習Ⅳ」です。これは3年次のゼミの継続です。そして、これらゼミの勉強をつうじて「卒業論文」を仕上げます。従って、「産業関係学演習Ⅰ、Ⅱ」を履修済であることが、原則として「産業関係学演習Ⅲ、Ⅳ」の履修条件となります。但し、在学留学をする場合については、個別に学科専任教員の指示を受けてください。

### ○選択科目Ⅰ

**学科専門科目群**は産業関係学の各論に相当する主要な科目から構成されています。

特に注意を要するのは「産業関係実習Ⅰ」「産業関係実習Ⅱ」「産業調査実習Ⅰ」「産業調査実習Ⅱ」です。この4科目は、「産業関係実習Ⅰ、Ⅱ」がセットで、「産業調査実習Ⅰ、Ⅱ」がセットです。

・このセットのいずれかを必ず履修しなくてはなりません。

・「産業関係実習Ⅰ、Ⅱ」は人事担当者の経験上の話や工場見学などをつうじて産業関係上の諸問題の実状を学びます。

・「産業調査実習Ⅰ、Ⅱ」は調査の企画、実施、成果の作成といういわゆる調査の技法を学びます。したがって、「産業調査実習Ⅰ、Ⅱ」は比較的少人数で運営されます。

**学部共通科目群**は、「現代社会論」「社会問題論」「マス・コミュニケーション論」「教育文化論／多文化共生社会と教育文化」の4科目があり、このうち2科目を必ず履修してください。いずれも社会学部を構成するそれぞれの学科の中心的な研究分野について、ものの見方をわかりやすく説明する科目です。できるだけ早い段階での履修が求められます。

### ○選択科目Ⅱ

専門科目を補完するための関連科目として、他の学問領域を学ぶ科目群で、幅広く選択できるように全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目に区分しています。

また、単位互換制度により同志社女子大学、および大学コンソーシアム京都に参加する他大学の授業を履修することもできます。

### ○選択科目Ⅲ

豊かな国際性を身に付けることを目的として、全学共通教養教育科目の中に外国語教育科目を設置しています。

なお、外国語会話科目は、各言語2単位を上限として卒業単位に算入します。

【注】「基礎イタリア語Ⅰ～Ⅳ」は選択科目Ⅱの単位として算入します。

英語については、全学共通教養教育科目（外国語科目）から8単位以上を履修すること。

- ・産業関係学科では英語力の向上を目指しています。このため、「Industrial Relations in EnglishⅠ」「Industrial Relations in EnglishⅡ」の科目を設けています。これらの科目は、社会科学や産業関係に関する英語文献を正確に速く読みこなす能力を培います。

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
必修科目	1	10942001	001	ファーストイヤーセミナー	①	樋口 純平 上田 眞士 三吉 勉 浦坂 純子 梶谷 真也 松山 一紀	春2	事前に決定したクラスを大学で一括登録する。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可
			002	〃	②				
			003	〃	③				
			004	〃	④				
			005	〃	⑤				
			006	〃	⑥				
	1	10942002		現代社会と労働	2	寺井 基博	春2		不可
	1	10942003		産業関係基礎論	2	三吉 勉 松山 一紀 上田 眞士 樋口 純平 朴 峻喜	秋2		不可
	1	10942006		基礎経済学(1)	2	梶谷 真也	春2		不可
	1	10942007		基礎経済学(2)	2	梶谷 真也	秋2		不可
	2	10942004		産業関係論(1)	2	上田 眞士	春2		可
	2	10942005		産業関係論(2)	2	上田 眞士	秋2		可
	2	10942021	001	産業関係文献演習Ⅰ	①	三井 愛子 安田 三江子 三井 愛子 三吉 勉 安田 三江子 富澤 理英子 福田 順 野田 知彦	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。ⅠとⅡはセット登録される。産業関係学基礎論文の同一クラスを一般登録すること。	不可
			002	〃	②				
			003	〃	③				
			004	〃	④				
			005	〃	⑤				
			006	〃	⑥				
			007	〃	⑦				
			008	〃	⑧				
	2	10942022	001	産業関係文献演習Ⅱ	①	三井 愛子 安田 三江子 三井 愛子 三吉 勉 安田 三江子 富澤 理英子 福田 順 野田 知彦	秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。ⅠとⅡはセット登録される。産業関係学基礎論文の同一クラスを一般登録すること。	不可
			002	〃	②				
			003	〃	③				
			004	〃	④				
			005	〃	⑤				
			006	〃	⑥				
			007	〃	⑦				
			008	〃	⑧				
2	10942023	001	産業関係学基礎論文	①	三井 愛子 安田 三江子 三井 愛子 三吉 勉 安田 三江子 富澤 理英子 福田 順 野田 知彦	集中	産業関係文献演習Ⅰ、Ⅱと同じ担当者のクラスを必ず一般登録すること。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可	
		002	〃	②					
		003	〃	③					
		004	〃	④					
		005	〃	⑤					
		006	〃	⑥					
		007	〃	⑦					
		008	〃	⑧					

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
必修科目	3	10942031	001	産業関係学演習Ⅰ	①	阿形 健司	春2	事前に決定したクラスを大学で一括登録する。ⅠとⅡはセット登録される。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可
			002	〃	②	樋口 純平			
			003	〃	③	松山 一紀			
			004	〃	④	朴 峻喜			
			005	〃	⑤	寺井 基博			
			006	〃	⑥	梶谷 真也			
			007	〃	⑦	上田 眞士			
			008	〃	⑧	浦坂 純子			
	3	10942032	001	産業関係学演習Ⅱ	①	阿形 健司	秋2	事前に決定したクラスを大学で一括登録する。ⅠとⅡはセット登録される。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可
			002	〃	②	樋口 純平			
			003	〃	③	松山 一紀			
			004	〃	④	朴 峻喜			
			005	〃	⑤	寺井 基博			
			006	〃	⑥	梶谷 真也			
			007	〃	⑦	上田 眞士			
			008	〃	⑧	浦坂 純子			
	4	10942041	001	産業関係学演習Ⅲ	①	阿形 健司	春2	同じ担当者を登録すること。あわせて卒業論文も登録すること。なお、産業関係学演習Ⅰ、Ⅱを履修済のこと。	不可
			002	〃	②	樋口 純平			
			003	〃	③	松山 一紀			
			004	〃	④	三山 雅子			
			005	〃	⑤	寺井 基博			
			006	〃	⑥	梶谷 真也			
			007	〃	⑦	上田 眞士			
			008	〃	⑧	浦坂 純子			
4	10942042	001	産業関係学演習Ⅳ	①	阿形 健司	秋2	同じ担当者を登録すること。あわせて卒業論文も登録すること。なお、産業関係学演習Ⅰ、Ⅱを履修済のこと。	不可	
		002	〃	②	樋口 純平				
		003	〃	③	松山 一紀				
		004	〃	④	三山 雅子				
		005	〃	⑤	寺井 基博				
		006	〃	⑥	梶谷 真也				
		007	〃	⑦	上田 眞士				
		008	〃	⑧	浦坂 純子				
4	10942090	001	卒業論文	①	阿形 健司	4	集中	産業関係学演習Ⅲ、Ⅳと同じ担当者のクラスを一般登録すること。	不可
		002	〃	②	樋口 純平				
		003	〃	③	松山 一紀				
		004	〃	④	三山 雅子				
		005	〃	⑤	寺井 基博				
		006	〃	⑥	梶谷 真也				
		007	〃	⑦	上田 眞士				
		008	〃	⑧	浦坂 純子				

産業関係

2025～  
2014年度生

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
選択科目 I 学科専門科目群	3～	10942101		労働問題(1)	2	休講			
	3～	10942102		労働問題(2)	2	休講			
	2～	10942105		産業社会学(1)	2	池田 梨恵子	春2		可
	2～	10942106		産業社会学(2)	2	池田 梨恵子	秋2		可
	2～	10942107		社会政策(1)	2	休講			
	2～	10942108		社会政策(2)	2	休講			
	2～	10942109		産業関係論特講A	2	休講			
	2～	10942110		産業関係論特講B	2	休講			
	2～	10942111		産業関係論特講C	2	樋口 純平 水野 勝康	春集中	夏季集中講義。卒業予定学期には登録できない。日程等は社会学部HP参照。	可
	2～	10942112		産業調査統計論(1)	2	浦坂 純子	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。(1)と(2)はセット登録される。(1)を受講したことがなければ(2)は登録できない。	可
	2～	10942113		産業調査統計論(2)	2	浦坂 純子	秋2		可
	2～	10942114		社会保障法	2	梶谷 真也	春2		可
	2～	10942115		産業技術論(1)	2	山口 歩	春2		可
	2～	10942116		産業技術論(2)	2	山口 歩	秋2		可
	2～	10942117		労働科学論(1)	2	藤野 ゆき	春2		可
	2～	10942118		労働科学論(2)	2	藤野 ゆき	秋2		可
	2～	10942119		労務管理論(1)	2	朴 峻喜	春2		可
	2～	10942120		労務管理論(2)	2	朴 峻喜	秋2		可
	2～	10942121		労働市場論(1)	2	野田 知彦	春2		可
	2～	10942122		労働市場論(2)	2	野田 知彦	秋2		可
	2～	10942130		比較産業関係論(1)	2	休講			
	2～	10942131		比較産業関係論(2)	2	休講			
	2～	16009100		働くということ	2	寺井 基博 上田 眞士 朴 峻喜	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	可
	2～	10942134		グローバル人的資源管理論(1)	2	樋口 純平	春2	2021年度以降生のみ登録できる。	可
	2～	10942135		グローバル人的資源管理論(2)	2	樋口 純平	秋2		可
	2～	10942132		グローバル人的資源管理論1	2	樋口 純平	春2	2020年度以前生のみ登録できる。	可
2～	10942133		グローバル人的資源管理論2	2	樋口 純平	秋2	可		
3～	10942151		産業関係実習 I	2	樋口 純平 上田 眞士 寺井 基博 朴 峻喜	春4		可	
3～	10942152		産業関係実習 II	2	樋口 純平 上田 眞士 寺井 基博 朴 峻喜 中井 正郎	秋4	セットで登録すること。	可	
3～	10942153		産業調査実習 I	2	三吉 勉 梶谷 真也	春4	セットで登録すること	不可	
3～	10942154		産業調査実習 II	2	三吉 勉 梶谷 真也	秋4		不可	

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	
		科目コード	クラスコード							
選択科目 I 学科専門科目群	2～	10942123	001	外国書基礎講読（英語）Ⅰ〔産〕	①	吉本 陵	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可	
			002	〃	②	吉本 陵				
			003	〃	③	休講				
	2～	10942124	001	外国書基礎講読（英語）Ⅱ〔産〕	①	吉本 陵	秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可	
			002	〃	②	吉本 陵				
			003	〃	③	休講				
	3～	10942501	001	外国書講読（英語）Ⅰ〔産〕	①	富澤 理英子	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可	
			002	〃	②	休講				
	3～	10942502	001	外国書講読（英語）Ⅱ〔産〕	①	富澤 理英子	秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可	
			002	〃	②	休講				
	3～	10912551		外国書講読（ドイツ語）Ⅰ		2	河合 竜太	春2		可
	3～	10912552		外国書講読（ドイツ語）Ⅱ		2	河合 竜太	秋2		可
	3～	10912553		外国書講読（フランス語）Ⅰ		2	大辻 都	春2		可
	3～	10912554		外国書講読（フランス語）Ⅱ		2	大辻 都	秋2		可
	3～	10912555		外国書講読（中国語）Ⅰ		2	李 文	春2	社会学部生のみ登録できる。	※可
	3～	10912556		外国書講読（中国語）Ⅱ		2	李 文	秋2		※可
	3～	10912559		外国書講読（韓国語）Ⅰ		2	影本 剛	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	可
	3～	10912560		外国書講読（韓国語）Ⅱ		2	影本 剛	秋2		可
	2～	10942125		組織行動学（1）		2	松山 一紀	春2		可
	2～	10942126		組織行動学（2）		2	松山 一紀	秋2		可
2～	10942136		労働法（1）		2	寺井 基博	春2	2021年度以降生のみ登録できる。（1）を受講したことがなければ（2）は登録できない。	可	
2～	10942137		労働法（2）		2	寺井 基博	秋2		可	
2～	10942127		労働法Ⅰ		2	寺井 基博	春2	2020年度以前生のみ登録できる。 【2019～2020年度生】 Ⅰを受講したことがなければⅡは登録できない。	可	
2～	10942128		労働法Ⅱ		2	寺井 基博	秋2	【～2018年度生】 Ⅰを受講したことがある方が望ましい。	可	
2～	10942138	001	実践キャリア演習	①	2	浦坂 純子 松川 晴美 植田 香代子 浮村 真弓	秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。2年次もしくは3年次に履修することを強く推奨する。	可	
学部共通科目群 I	1～	10912002		現代社会論		2	遠藤 英樹	秋2	社会・スポーツ健康科学部生のみ登録できる。	※可
	1～	10922002	001	社会問題論	①	平田 義	春2	社会・神学部生のみ登録できる。クラス②は先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	※可	
			002	〃	②	MARTHA MENSENDEK				
	1～	10932002		マス・コミュニケーション論		2	伊藤 高史	春2		不可
	1～	10952002	001	教育文化論	①	2	本間 桃里	春2	2017年度以前生のみ登録できる。	不可
			002	〃	②	沼田 潤	秋2			
1～	10952009	001	多文化共生社会と教育文化	①	2	本間 桃里	春2	2018年度以降生のみ登録できる。	不可	
		002	〃	②	沼田 潤	秋2				
選択科目 II	4～			産業関係学専攻特別講義Ⅰ		2		2022年度以降生のみ登録できる。事前審査が必要な科目である。詳細は『社会学研究科科目（同志社大学大学院）の履修について』（P.85～）を参照すること。事前に決定した科目を大学で一括登録する。	不可	
				▼全学共通教養教育科目				『全学共通教養教育科目 履修要項』を参照すること		
				▼免許・資格関係科目				『共通選択科目（P.98～）』を参照すること		
				▼他学部・他学科科目				他学部・他学科の「開講科目一覧表」を参照すること		
				▼チュービンゲン大学IES科目						
				▼同志社女子大学単位互換科目						
			▼大学コンソーシアム京都単位互換科目					『登録要領』を参照すること		

産業関係

2025～  
2014年度生

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
選 択 科 目 Ⅲ	I～	10942303	001	Industrial Relations in English I ①	2	三井 愛子	春2	先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。	不可
			002	〃		富澤 理英子			
			003	〃		富澤 理英子			
			004	〃		富澤 理英子			
			005	〃		福田 順			
	I～	10942304	001	Industrial Relations in English II ①	2	三井 愛子	秋2	先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。	不可
			002	〃		富澤 理英子			
			003	〃		富澤 理英子			
			004	〃		富澤 理英子			
			005	〃		福田 順			
			▼英 語	『全学共通教養教育科目 履修要項』および 『登録要領』を参照すること					
			▼ド イ ツ 語						
			▼フ ラ ン ス 語						
			▼中 国 語						
			▼ス ペ イ ン 語						
			▼ロ シ ア 語						
			▼コ リ ア 語						
			▼日本語（外国人留学生のみ）						
科自由			▼自 由 科 目		自由科目（P.105～）を参照すること				